

病児保育室だより No.2.感染症予防対策～感染経路を考えよう～

空気感染

飛沫が空気中で蒸発し、感染性を保ったまま空気の流れによって拡散し、それを吸い込むことで感染する。部屋中に感染する可能性がある。



感染経路ってなに？

ウイルスや細菌が体の中に入る経路のことです。人と人が直接接触して感染する場合もあれば、何かを介して感染することもあります。感染症の種類によっては複数の感染経路をとるものがあります。この感染経路を遮断することで感染予防ができます。

接触感染

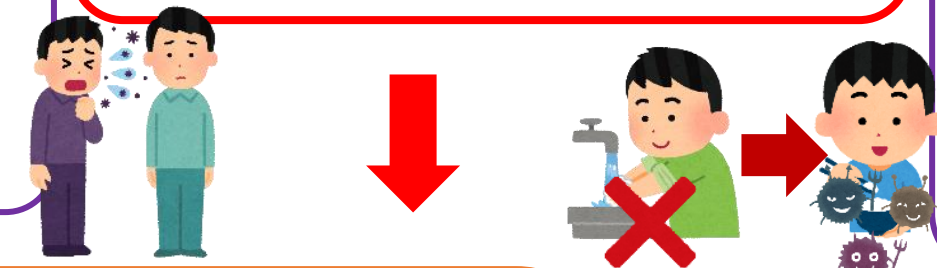
体液や血液など、ウイルスや細菌を含む感染源に触れて、その汚染された手で粘膜(目、鼻、口など)に触ることで感染する。玩具、ドアノブ、タオルなどからも感染する。

ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス

多くの呼吸器疾患
ウイルス性疾患

飛沫感染

感染者の咳やくしゃみを近くにいる人が吸い込むことで感染する。咳やくしゃみが飛び散る範囲は1～2m。



経口感染

ウイルスや細菌を含んだ水や食べ物を摂取すること、手に付着したウイルスや細菌が体の中に入り込むことで感染する。

ノロウイルス
カンピロバクター

結果的にいつも行っている

- ・手洗い
(30秒間/もしもしかめよ・ハッピーバースデーなどの歌に合わせて)
- ・定期的な換気
- ・吐物、便の正しい処理
- ・マスクやガウン、手袋の適切な使用
- ・色々な人が触れる物、場所の消毒がとても大事ということになります！

→有効な消毒方法など次回の病児保育室だよりに続きます！



医)慈慧克会
二星こどもクリニック併設型施設

病児保育室かけっこ



理事長 二星あゆみ

住所:神戸市灘区御影 2-2-5

パーチェ御影 401号室

予約・問い合わせ 080-8948-5757